



教科名	数学	科目名	数学演習(Ⅲ)	履修学年	中学・ <u>高校</u>	3年	2	組		
単位数	7単位	使用教科書 補助教材等	プリント							
担当者	高橋									
学習目標	数学Ⅲの標準問題を確実に解けるようにする。 共通テストで8割を取れるようになる。									
評価方法										
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢					
評価規準	・微分積分(数学Ⅲ)の計算を間違えずに実行できるか。 ・教科書の例題のような典型問題を確実に解けるか。		・ⅠAⅡBの共通テスト形式の問題を解けるか。 ・すぐには解法が見つからない問題でも考えることができるか。		・小テストで解けなかった問題をしっかり復習して身につけることができるか。 ・自分の志望に合わせて自宅学習できているか。					
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査の得点で評価する。				小テストの結果で評価する					
学期末の 各観点比率(%)	約80%				約20%					
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	数学ⅢC 基本問題演習 数学ⅠA 共通テスト基本演習						38	1 学期 中間 考査	
	5									
	6	数学ⅢC 基本問題演習 数学ⅡBC 共通テスト基本演習						38	1 学期 期末 考査	
	7									
	8									
2	9	数学ⅠAⅡBⅢC 入試問題演習 共通テストⅠA 実戦演習						30	学 年 末 考 査	
	10									
	11	数学ⅠAⅡBⅢC 入試問題演習 共通テストⅡBC 実戦演習						34		
	12									
3	1									
	2									
	3									

教科名	数学	科目名	数学演習a,b (IAIIBC)	履修学年	中学・ <del>高校</del>	3年	2組		
単位数	7	使用教科書 補助教材等	プリント						
担当者	赤岩辰巳								
学習目標	数学ⅠAⅡBCの各単元について、入試標準問題及び共通テスト問題を確実に解けるようにする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	授業を通して学んだ基本的事項や原理法則等を理解している。また、問題に対して学習した内容の理解および知識利用して、数学的な処理ができる。		数や式、グラフ、図形等の知識・技能を活用し、それらを組み合わせて諸問題に対応しようとしている。また、自分の考えや解法を正しく表現・説明しようとしている。		知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、積極的に授業に参加したり諸問題に粘り強く取り組みを行おうとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査の得点で評価する。				小テストや授業課題の結果で評価する				
学期末の 各観点比率(%)	約80%				約20%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	●数学ⅠAⅡBC問題演習					38	1 学期 中間 考査	
	5								
	6	●数学ⅠAⅡBC問題演習					38	1 学期 期末 考査	
	7								
	8								
2	9	●数学ⅠAⅡBC問題演習					30	2 学期 中間 考査	
	10								
	11	●数学ⅠAⅡBC問題演習					34	2 学期 期末 考査	
	12								
3	1								
	2								
	3								

教科名	数学	科目名	数学演習ab	履修学年	中学 <b>高校</b>	3年	4, 5	組	
単位数	7単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT 数学Ⅲ及び数学C						
担当者	永野, 山内		数研出版 ベーシックスタイル数学演習ⅠAⅡBC 数研出版 ベーシックスタイル数学演習ⅢC						
学習目標	数学の内容を学習していく中で、「知識・技能」の習得、「思考・判断・表現」力の養成、「主体的に学習に取り組む姿勢」の育成を目指す。大学受験に向けた実践的な数学力を身につける。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・授業や教科書などで学んだ数学的な内容や公式などを理解している。 ・問題に対し、学んだ数学的知識を利用して適切な計算をすることができる。		・文字式や関数・方程式などの知識などを活用し、それらを組み合わせて論理的に考察することができる。 ・自分の考えや解法を正しく表現することができる。 ・採点者に分かりやすい解答を作成できる。			・宿題にコツコツ取り組むなど、粘り強く学習に取り組んでいる。 ・粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習をより良く調整できるように意識している。			
各観点の授業内 評価方法等	①定期考査（計算問題） →公式が正しく使えるか、正確に計算が行えるか ②授業内外の小テストなど		①定期考査（記述問題） →難易度の高い問題に対して最適な思考を行い、自分の考えを分かりやすく解答できるかを問う。			①宿題や課題、小テストへの取り組み ②より良い学習への取り組み・調整			
学期末の 各観点比率(%)	約50%		約30%			約20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【基礎力定着期間①】 ※数学演習a:月4・火1,2・水1,2 数学演習b:水4・木4 演習 a: NEXT数学Ⅲ 第5章積分法とその応用 演習 b: NEXT数学C ①第3章複素数平面(複素数と図形) 第3節積分法の応用(面積・体積・道のり・曲線の長さ ②第4章式と曲線 第2節媒介変数と極座標 ○「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の内容の復習 ○「数学A」「数学B」「数学C」の内容の復習					約23	中間考査	
	5	中 間 考 査					10		
	6	【基礎力定着期間②】 演習 a: 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の内容の復習 演習 b: 「数学A」「数学B」「数学C」の内容の復習					約27	期末考査	
	7	期 末 考 査					11		
	8	【夏期講習会】 【夏休みの課題】							
2	9	【受験問題演習期間①】 演習 a: 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の内容の受験問題演習 演習 b: 「数学A」「数学B」「数学C」の内容の受験問題演習					約20	中間考査	
	10	学 年 末 考 査					9		
	11	【受験問題演習期間②】 演習 a: 私大過去問を中心に問題演習 演習 b: 共通テスト過去問を中心に問題演習					約30	期末考査	
	12	【冬期講習会】					約6		
3	1	【年内入試合格者の授業】					約18	学年末考査	
	2								
	3								

2026年度






教科名	数学	科目名	数学演習a,b (IAIIBC)	履修学年	中学・高校	3年	4、5組		
単位数	7	使用教科書 補助教材等	数研出版 ベーシックスタイル数学演習 I A I I B C [ベクトル] 受験編						
担当者	安井		数研出版 NEXT数学C 自作プリント						
学習目標	数学 I A I I B C の各単元について、入試標準問題及び共通テスト問題を迷いなく解けるようにする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	授業を通して学んだ基本的事項や原理法則等を理解している。 また、問題に対して学習した内容の理解および知識利用して、数学的な処理ができる。		数や式、グラフ、図形等の知識・技能を活用し、それらを組み合わせて諸問題に対応しようとしている。 また、自分の考えや解法を正しく表現・説明しようとしている。		知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、積極的に授業に参加したり諸問題に粘り強く取り組みを行おうとしている。				
各観点の授業内評価方法等	定期考査		定期考査		授業課題				
学期末の各観点比率(%)	40%		30%		30%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学C】 第3章 複素数平面 (半直線のなす角) 【数学C】 第4章 式と曲線 第8節 極座標、極方程式					32 1	学期 中間 考査	
	5	●数学 I A I I B C 問題演習 中間考査							
	6	●数学 I A I I B C 問題演習 期末考査					38 1	期 末 考 査	
	7	期末考査							
8							2 学 期 中 間 考 査		
2	9	●数学 I A I I B C 問題演習					26 1	期 末 考 査	
	10	中間考査							
	11	●数学 I A I I B C 問題演習 期末考査					34	期 末 考 査	
	12	期末考査							
1	進路決定者					19			
3	2								
	3								

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ・C	履修学年	中学 <b>高校</b>	3年	L	7	組	
単位数	5+2=7	使用教科書 補助教材等	コネクト 数学Ⅲ・C							
担当者	樋田		ネクスト 数学Ⅲ・C スタディエイドを用いた自作プリント等							
学習目標	大学入試問題に取り組むことで3年間で習得した数学を体系的に学びなおす。その過程を通じて大学に進学するにたる学力を身につける									
評価方法										
評価観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	必ずしも正しい理解をする必要はないが、数学の定理・公式を用い教科書の例題や練習問題を正しく計算することができる(知識) 覚えた定理・公式を複数組み合わせることができる典型例題の解法を理解し再現することができる(技能)			数学の見方や考え方が身についているか評価するうえで最も重要な問題は大学入試問題である 微積分の意味をイメージと式を正しくリンクさせ大学の出題意図を把握することができる(思考・判断) 分解・統合を行う過程を他者に論理的に記述することができる(表現)			学校の学びだけでは入試問題は解けない 自主的に既習単元の基礎固めをし、本質的理解をするために問題集や参考書解くことができる 模試の点数に結びつけるためにはどのような学びが必要か自己調整できる			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査および小テストにおいて簡単な計算問題が速く正確に解けるかどうか			定期考査において基本から標準レベルまでの受験数学問題が解けるかどうか			・授業からくみ取った不足部分やレベルの高い演習問題を探して取り組めるかどうか 赤本や模試を通して弱点を掘り起こし正しい理解にまで落とし込めるかどうか			
学期末の 各観点比率(%)	40%			30%			30%			
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	数学Ⅲ 定積分 8h 定積分の応用						30h	中間考査	
	5	週7時間のうちの4時間 14h 数学Ⅲ 微分の応用			週7時間のうちの3時間 8h 数学C 複素数平面 授業内考査					
	6	数学Ⅲ(70分)定期考査 微分の応用+積分計算 ベクトル・数列の大問2題								
	7	数学Ⅲ 週5時間 積分の応用 数学Ⅲ(70分)定期考査			数学C 週2時間 2次曲線 授業内考査					
	8	数BⅢC入試演習 夏期講習 大学入試演習								
2	9	週7時間 大学入試問題演習						30h	学年末考査	
	10	学年末考査 数学Ⅲは第3回河合塾記述模試をにらんで出題								
	11	共通テスト演習								
	12	冬期講習会								
3	1	自宅学習								
	2	推薦進学者特別授業								
	3									

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ・C	履修学年	中学 <b>高校</b>	3年	8	9	組	
単位数	5 + 2 単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT数学Ⅲ・C							
担当者	長尾・竹田		数研出版 CONNECT数学Ⅲ+C							
学習目標	数学Ⅲ・Cの内容を学習していく中で、「知識・技能」の習得、「思考・判断・表現」力の養成、「主体的に学習に取り組む姿勢」の育成を目指す。									
評価方法										
評価観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や教科書などで学んだ数学的な内容や公式などを理解している。</li> <li>問題に対し、学んだ数学的知識を利用して適切な計算をすることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>文字式や関数、方程式などの知識を活用し、それらを組み合わせて論理的に考察することができる。</li> <li>自分の考えや解法を正しく表現し、採点者に分かりやすい解答を作成できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題にコツコツ取り組むなど、粘り強く学習に取り組んでいる。</li> <li>粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習をより良く調整できるように意識している。</li> </ul>			
各観点の授業内 評価方法等	①定期考査1枚目（基本問題） →教科書の例題や問題集のA問題を中心に 出題し、公式が正しく使い、正確な計算が 行えるかを問う。 ②授業内外の小テスト、到達度テストなど			①定期考査2枚目（応用問題） →教科書の応用例題や問題集のB、C問題 を中心に 出題し、難易度の高い問題に対して最適 な思考を行い、分かりやすく解答できるか を問う。			①宿題や課題、小テストへの取り組み・提出 状況 ②より良い学習への取り組み・調整			
学期末の 各観点比率(%)	約50%			約30%			約20%			
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	【数学C】 第3章 複素数平面 第4章 式と曲線						約 35	中 間 考 査	到 達 度 確 認 テ ス ト ①
	5	中 間 考 査								
	6	【数学Ⅲ】 第4章 微分法の応用 の続き 第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分						約 40	期 末 考 査	
		期 末 考 査								
	7	第2節 定積分						約 7		
	8	【夏期講習会】 【夏休みの課題】								
2	9	第3節 積分法の応用 【受験問題演習期間①】 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」の内容の受験問題演習						約 35	中 間 考 査	到 達 度 確 認 テ ス ト ②
	10	中 間 考 査								
	11	【受験問題演習期間②】 私大過去問を中心に問題演習						約 40	期 末 考 査	
	12	【冬休みの課題】						約 7		
3	1	進路決定者						約 18		
	2									
	3									

2026年度

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ・C (ⅠAⅡBC)	履修学年	中学・ <u>高校</u>	3年	8, 9組		
単位数	7	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT 数学B, CONNECT 数学Ⅱ+B						
担当者	渡辺		数研出版 ベーシックスタイル数学ⅠAⅡBC 自作プリント						
学習目標	数学ⅠAⅡBCの各単元について、入試標準問題及び共通テスト問題を迷いなく解けるようにする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	授業を通して学んだ基本的事項や原理法則等を理解している。 また、問題に対して学習した内容の理解および知識利用して、数学的な処理ができる。		数や式、グラフ、図形等の知識・技能を活用し、それらを組み合わせて諸問題に対応しようとしている。 また、自分の考えや解法を正しく表現・説明しようとしている。		知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、積極的に授業に参加したり諸問題に粘り強く取り組みを行おうとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	定期考査		定期考査		授業課題				
学期末の 各観点比率(%)	40%		30%		30%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学B】 第2章 統計的な推測					36 1	学期 中間 考査	
	5	●数学ⅠAⅡBC問題演習 中間考査							
	6	●数学ⅠAⅡBC問題演習 期末考査					39 1	期 末 考 査	
	7	期末考査							
	8							2 学 期 中 間 考 査	
2	9	●数学ⅠAⅡBC問題演習					29 1	期 中 間 考 査	
	10	中間考査							
	11	●数学ⅠAⅡBC問題演習					36	期 末 考 査	
	12	期末考査							
	1	進路決定者					21		
3	2								
	3								

教科名	数学	科目名	自選数学IA演習	履修学年	中学・ <del>高校</del>	3年
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	自作プリント			
担当者	星野					
学習目標	数学ⅠAの入試基本問題の代表的な解放を習得し、計算力も含めた解法の活用能力を高める					
評価方法						
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢	
評価規準	授業を通して学んだ基本的事項や原理法則等を理解している。 また、問題に対して学習した内容の理解および知識利用して、数学的な処理ができる。		数や式、グラフ、図形等の知識・技能を活用し、それらを組み合わせて諸問題に対応しようとしている。 また、自分の考えや解法を正しく表現・説明しようとしている。		知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、積極的に授業に参加したり諸問題に粘り強く取り組みを行おうとしている。	
各観点の授業内 評価方法等	授業内テスト		授業内テスト		授業の記録・振り返り	
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%	
授業計画						
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等	時間数	評価区分		
				1	2	
1	4	○数学ⅠA基本演習	8			
	5					
	6	○数学ⅠA基本演習				
	7					
	8					
2	9	○数学ⅠA基本演習	6			
	10					
	11					
	12					
3	1					
	2					
	3					

教科名	数学	科目名	自選数学ⅡB演習	履修学年	中学・ <u>高校</u>	3年		
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	プリント					
担当者	渡辺							
学習目標	数学ⅡBCの基本問題を確実に解けるようにする。計算力を身につける。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書例題レベルの基本問題の解法が定着しているか。</li> <li>入試に耐える基本計算力が身についているか。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>答えだけでなく、そこに到達するまでの過程をきちんと記述することができるか。</li> <li>少し複雑な問題にも、果敢に挑戦することができるか。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。</li> <li>自分の課題などを把握し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。</li> </ul>			
各観点の授業内 評価方法等	単元テスト・計算テスト・レポートで評価する。							
学期末の 各観点比率(%)	100%							
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分 1	評価区分 2
1	4	○数学ⅡBC基本演習				12		
	5							
	6	○数学ⅡBC基本演習				12		
	7							
	8							
	2	9	○数学ⅡBC基本演習					
10								
11		○数学ⅡBC基本演習				10		
12								
3	1							
	2							
	3							